

6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化を図るため、各種媒体を活用した情報発信・広報・広告事業を進めている。

令和4年度から参加している「とよなかデジタルサービスフェア」（旧「とよなかデジタル・エキスポ」）に令和6年度も参加。電子書籍の体験ブースを設け、豊中市デジタル図書館のアピールをおこなった。

教育委員会の公式 X（旧 Twitter）では、各種サービスや行事の発信、新着資料の紹介などを随時おこなっている。令和6年度は139回投稿、図書館の仕事を紹介する動画の投稿もおこなった。「とよなかっ子ライン」（こども安心課）においても、児童・生徒に向けて本の紹介を月1回おこなっている。その他、はぐくみセンター公式 X「ほっぺちゃん通信」（豊中市立子育て支援センターほっぺ）や、子育て・子育て応援アプリ「とよふぁみ」（こども政策課）でも、行事の情報などを随時発信した。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類
記事：多世代の人が利用しやすい空間づくりに向けて／蛍池図書館がリニューアルのため休館するみたい	TNN豊中報道。2	2024.4	Web
記事：【豊中市】「蛍池図書館」は豊中市民の理想が詰まった図書館に生まれ変わります！ 豊中市初の試みも！！	号外NET豊中市	2024.4	
記事：【豊中】いつでもどこでも電子書籍が読める「豊中市デジタル図書館」ですって？！野畑図書館さん教えてください！	まちっと 北摂	2024.5	
記事：【北摂】となり街の図書館を使う「広域利用」って？！千里図書館で聞いてきた	まちっと 北摂	2024.6	
記事：-豊中市-蛍池図書館がリニューアル工事のため6月17日から休館 返却ポストは6月30日(日)17時まで	City Life News	2024.6	
記事：(仮称)中央図書館の計画地を選定 整備計画(素案)のパブリックコメントを開始	PR TIMES	2025.1	
記事：「豊中市（仮称）中央図書館」の計画地が「曽根駅前の民有地」に決定したみたい	TNN豊中報道。2	2025.1	
記事：豊中市内の図書館が一斉に休業するみたい／図書館システムの更新作業と機器の入れ替えのため	TNN豊中報道。2	2025.2	
記事：豊中市、「豊中市（仮称）中央図書館整備計画」を策定	カレントアウェアネス-R	2025.3	
記事：-豊中市- 豊中市(仮称)中央図書館 曽根駅前の民有地を選定	City Life News	2025.3	
記事：「誰もが居心地のよい図書館」をめざして 蛍池図書館リニューアルオープン	PR TIMES	2025.3	
記事：「誰もが居心地のよい図書館」を目指して／リニューアルオープンする蛍池図書館に一足先にお邪魔してきた	TNN豊中報道。2	2025.3	

「ええやん！この街」にて豊中市を紹介、庄内図書館のおはなし会の様子とおはなしポケット・石浜さんを紹介	NHK「ほっと関西」	2024.6	TV
読書の達人・司書のコレ絶対読んで！	読売新聞	2025.2	新聞
新館紹介 豊中市庄内図書館	図書館雑誌	2024年6月号	雑誌
記事：新館紹介① 令和5年2月2日にリニューアルオープン 豊中市立庄内図書館	大阪公共図書館協会 会報	No.176 (2024.9)	会報
6・7月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 蛍池図書館の休館のお知らせ	ふるさと刀根山	vol.34 (2024.6)	校区 広報誌
9～11月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「動く図書館 あおぞらおはなし会月間」案内		vol.35 (2024.9)	
12・1月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 「動く図書館 あおぞらおはなし会月間」報告		vol.36 (2024.12)	
3・4月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前）、 図書館新サービスのお知らせ		vol.37 (2025.3)	

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるよう努めている。

出前講座

<子育て中の保護者を対象にした絵本講座>

- ・「子育てサークル・子育てサロン」「千里親子ふれあい広場」
- ・「家庭での絵本の楽しみ方」（保育教育施設地域支援担当者研修会）
- ・児童相談所開設準備チームへの選書レクチャー 等

<学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座>

- ・「新任学校司書研修」「校内研修」「マチカネ先生塾」

<（仮称）中央図書館関連>

- ・中央図書館を考える連続講座「豊中市（仮称）中央図書館整備計画（素案）について」（中央図書館を考える連続講座実行委員会）

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーター養成講座（小学生対象）」公民館各種講座 等

講師派遣

- ・令和 6 年度図書館司書専門講座 事例研究Ⅲ図書館の経営と評価 講師（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）
- ・事例発表「豊中市立図書館における児童サービスと『図書館で一時保育』」（令和 6 年度近畿公共図書館協議会研究集会）
- ・事例発表「豊中のブックスタート事業～えほんはじめて～」（ブックスタート全国研修会 2024in 京都）
- ・「変わる図書館!とよなかブックプラネット事業とその実践について一大阪府豊中市の学校図書館支援と取組事例の紹介」 （New Education Expo）

視察等受入れ

- <視察> （ ）は受入れ施設
- ・長崎市議会、石狩市議会、帯広市議会、水戸市議会、岩倉市議会：図書館で一時保育（岡町図書館）
 - ・大宰府市議会：ブックプラネット事業、学校図書館との連携について（岡町図書館）
 - ・滋賀県立図書館「こどもとしゃかん」サポートセンター：団体貸出室の業務、学校図書館との連携について（岡町図書館）
 - ・大阪音楽大学生、教育委員会新規採用職員：庄内コラボセンター内図書館の見学（庄内図書館）
 - ・慶応大学、大阪経済大学：北摂アーカイブス（岡町図書館）
 - ・大阪府教育庁視察：とよなかブックプラネット事業について（岡町図書館、南桜塚小学校）
- <インターンシップ・実務研修>
- ・京都橘大学：図書館ボランティア（岡町図書館）
 - ・豊中高校ボランティア志学：図書館ボランティア（岡町、千里図書館）
 - ・箕面自由学園高校：図書館ボランティア（岡町図書館）
 - ・サポートセンターる〜ぷ：就労移行事業（庄内図書館）

8. 図書館協議会

令和 6 年度は 3 回（7、12、3 月）開催された。

令和 5 年度に引き続き、豊中市立図書館における多文化サービスのあり方について議論し、「豊中市立図書館における多文化共生サービスのあり方について意見書（案）」を取りまとめた。

会議録は図書館 Web サイトで公開している。

令和 6 年度の委員一覧

名 前	団 体 名・役 職 等
橋 本 真 理	小学校長会代表
道 上 博 行	中学校長会代表
藤 井 典 子	こども園長会代表
樋 口 弘 子	豊中図書館の未来を考える会
天 瀬 恵 子	豊中子ども文庫連絡会
◎ 瀬 戸 口 誠	学識経験者
○ 福 井 佑 介	学識経験者
山 本 晃 輔	学識経験者
中 西 真 弓	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有を図る仕組みとして、平成 20 年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」という。）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下、「グランドデザイン」という。）の策定を機に、平成 26 年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。さらに、令和 2 年度は「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「基本構想」という。）の策定に際し、「グランドデザイン」の目標設定や進行管理は基本構想に包含する形で継承されることとなった。

令和 6 年度においては、次年度に予定されている来館者アンケートの実施に向け、過去のアンケート結果を精査し、質問項目の検討をおこなった。令和 7 年後半には図書館協議会における意見交換を経て、アンケートを実施する予定である。利用者から寄せられるご意見・ご要望を分析し、今後の図書館サービスの充実と質の向上に努めていく。

10. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

夏休みに、休館日の図書館（岡町、庄内、千里、野畑図書館）を利用し、公共図書館司書と学校司書が連携して、小学校 4～6 年生の児童が調べ学習の一連の流れを体験する「知的探究合戦 めざせ！図書館の達人」を開催した。12 月に豊中市立文化芸術センター小ホールでおこなわれた「子ども読書活動フォーラム」では、「図書館の達人」の優勝 4 チームの表彰と、「豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会」を実施し、児童生徒の成果発表の場として、読書活動・学習活動の活性化を図った。

また、図書館コンピュータシステムの更新にともない、学校図書館システムとの一部データ連携をおこなうことで相互貸借業務の効率化を図るとともに学校図書館活用データベースを更新し教員支援機能を強化した。

11. 豊中市（仮称）中央図書館基本構想

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想（以下、「基本構想」という。）」の推進にあたり、令和 6 年度に実施した主な取り組みは以下のとおり。

◆（仮称）中央図書館の計画地の選定

「豊中市立図書館みらいプラン」で示した 3 か所の候補地から、令和 5 年 11 月に阪急電鉄宝塚線曽根駅前の民有地を第一優先候補地に選定した。

その後、民間事業者との間で、施設概要や機能配置、価格について協議をおこない、令和 7 年 1 月に同地を

（仮称）中央図書館の計画地として選定した。

◆（仮称）中央図書館をつくろう２ ワークショップ

（仮称）中央図書館の整備に向けて、基本構想策定後に市民の意見やアイデアをアンケートやワークショップなどを実施し確認してきた。それらの結果を整理し、（仮称）中央図書館整備計画に反映させるため、改めて市民ワークショップを開催した。

サービス内容や諸室のあり方、階層ごとの関係性などをテーマに、意見整理をしながら、多角的に計画案を検討する機会となった。

■参加人数 10月13日：15人、10月20日：14人、10月27日：16人



ワークショップ

◆（仮称）中央図書館整備計画の策定

令和7年1月から整備計画の素案を公表し、パブリックコメントを実施した。97人317件の意見を参考に、整備計画を策定した。

本計画では、市民・団体などの意見内容を整理し、（仮称）中央図書館のサービス方針・計画をもとに、諸室や設備の整備方針・計画を明らかにし、配置の考え方を方針と配置図で示した。また、管理運営計画として蔵書計画や直営による管理運営方式など、今後の方向性を示した。

◆ その他、市民との関係づくり

取り組みを市民と共有するため「図書館みらい通信」を12回発行した。蛭池図書館のリニューアルについて市民グループと共催の市民説明会を2回実施した。また、市LINEアカウント登録者や図書館来館者を対象に中央館の機能や運営に関するアンケート調査をおこなった。